「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2014推進ニュース

－介護の“Big Wave”を広げよう！－

衆議院厚労委員会　参考人質疑！（5月7日）

5月7日の衆議院厚労委員会では、午後から参考人質疑が行われました。

要支援で週3回（うち1回は自費サービス）、ヘルパー利用をしている指宿八洲夫さん（91歳）は、「ボランティアとヘルパーでは、専門性と責任の持ち方がまったく違う。私はヘルパーさんに来てもらいたい。私の人生の最後がプライドを持てるように、関わる人の報酬を見合うものにしてください」と訴えられました。

日本医師会の中川俊男副会長は、「医療に営利企業の参入をさせない理由」について聞かれ、「医療は、営利を目的としないことを矜持（自負）している。営利企業は利益を上げることが目的。利益があがらないところからは、簡単に撤退するのではないか？」と応えていました。

先日の 4.24 ヒューマンチェーンの呼びかけ人である埼玉県済生会の本多宏医師は、「日本はグローバル・スタンダード（世界中で通用する基準）からかけ離れている。全国の医師数は、埼玉だけでも1万人不足している。憲法25条が守られていない」と、たくさんの資料を使って訴えていました。

岡山から、座り込みと傍聴の参加がありました♪

傍聴の感想は？「5人の参考人の意見陳述がありましたが、介護について訴えたのは1人だけでした。民主党の議員が質問をしていましたが、プロの介護ヘルパーが必要な理由をもっと引き出すようにしてほしかったです。また、介護予防にプロが関わる必要性についても、介護職自身が伝えられる場を与えてもらって、プロがどういう仕事をしているのか知ってもらいたいです」「厚労委員会の様子がよくわかりました」とのことでした。

遠くから、お疲れさまでした！

今後の介護ウェーブのとりくみ

○衆議院厚生労働委員会の傍聴

5月14日（水）　それぞれ9時～と13時～です。

＊事前申し込みが必要です。詳細は、2014年4月23日発行の通達（41）第ア-63号をご参照ください。

○国会前座り込み

5月14日（水）　衆議院第2議員会館前で10時～15時です。

○国会議員要請行動

5月14日（水）10時30分～15時30分　衆議院第2議員会館　第7会議室

5月28日（水）10時30分～15時30分（中央社保協との合同）　会場未定

5月14日は安倍首相が厚労委員会に出席して、法案の説明を行う予定で、強行採決も行われるかもしれません。
国会行動や、ＦＡＸでの抗議＆激励行動など、出来る限りの行動で、法案を通さないとりくみを進めましょう！

介護保険「改善の声を」

「よくする信州の会」夏にも発足

介護者や県民医連 制度改正の課題探る

5月2日の信濃毎日新聞で、長野の「介護保険をよくする信州の会」（仮称）が紹介されました。反響が大きく、事務局の長野県民医連には介護者からの電話が続いているそうです。（写真は、長野の介護ウェーブゼッケンです）

長野

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」　事務局：諏佐・吉澤・山平
☎ 03-5842-6451／fax 03-5842-6460／E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp